

一般社団法人日本内科学会令和3年度第1回理事会議事録

1. 日時 令和3年5月6日(木) 14時～15時45分
2. 場所 東京都文京区本郷3丁目28番8号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室を開催場所とするWeb会議
3. 理事総数 20名 出席した理事の数 20名

出席者 [理事]

矢富 裕(理事長)、奥村利勝、張替秀郎(副理事長)、黒川峰夫、南学正臣(副理事長)、服部信孝、福田恵一、森屋恭爾、駒津光久、有馬 寛、下畑享良、中本安成、稲垣暢也(第119回講演会会長)、塩島一朗、吉治仁志、山本一博、日浅陽一、下田和哉、筒井裕之、三谷絹子の20名

[監事]

梶波康二、北園孝成、持田 智の3名

[その他出席者]

小室一成(第120回講演会会長)、妹尾 浩(第119回講演会準備委員長)、森田啓行(第120回講演会準備委員長)、横山彰仁(専門医制度審議会会長)、高橋和久(日本内科学会雑誌編集主任)、大平弘正(Internal Medicine 編集主任)、須永眞司(専門医部会会長)の7名

オブザーバー 佐々木毅(日本病理学会理事)の1名

4. 議事の経過及び結果

矢富 裕理事長が議長となり、次の21議案について逐次審議することとなった。今回はWeb会議ソフトを利用して開催し、情報伝達の即時性と双方向性を確認した後、議事に入った。

第1議案 本年度の役員など定時総会決定事項の紹介

議長より、4月9日(金)に開催された定時総会で承認された令和3年度理事・監事・委員等の報告とその後追加となった委員会委員等について報告があり、了承を得た。

第2議案 理事担当業務の確認

議長より、4月9日(金)に開催された臨時理事会で承認された各理事の担当業務について確認があり、了承を得た。

第3議案 理事長から囑託する専門委員等に関する件

議長より、前回理事会で選任した関係団体の本会代表委員、業務担当専門委員についての確認があり、了承を得た。

第4議案 第119回講演会関係事項

稲垣第119回講演会会長より、これまで報告したプログラムのうち招請講演の1題の演者が都合により変更となったこと、新たに決まったパネルディスカッションのテーマと演者について報告があり、了承を得た。

第5議案 第120回講演会の開催地および会期などについて

小室第120回講演会会長より、令和5年(2023)年4月14日(金)から16日(日)までの3日間、東京都の東京国際フォーラムで開催する予定であるとの報告があり、了承を得た。また、プログラムについては今後の学術集会運営委員会にて検討していくとの報告があった。

第6議案 学術集会運営委員会関係事項

(1) 会長が推薦する学術集会運営委員会委員選任の件

議長より、小室第120回講演会会長から学術集会運営委員会規程第3条第3号による会長推薦委員の6名について、飯島尋子、石岡千加史、門脇則光、鈴木隆浩、藤本新平、星野友昭の推薦があったとの報告があり、原案通り選任された。また、委員が少ない腎臓の分野について宮崎真理子を理事会推薦としたいとの説明があり、承認を得た。

(2) 本年度第1回委員会開催日

議長より、本年度第1回の委員会開催日について調整して決定したいとの説明があり、了承を得た。

第7議案 学会在り方検討委員会関係事項

議長より、本年度第1回の委員会開催日について調整して決定したいとの説明があり、了承を得た。

第8議案 専門医制度審議会関係事項

横山審議会会長より、第152回審議会の開催日について報告があり、了承を得た。

第9議案 専門医部会関係事項

須永専門医部会会長より、第118回講演会においてCPCとサテライト企画として日常診療の診断プロセスを考える講演会、「全人的医療」実践講演会をオンラインで配信したこと、また各々についてオンデマンド配信するとの報告があり、了承を得た。

第10議案 生涯教育委員会関係事項

(1) 理事会推薦委員8名に関する件

議長より、生涯教育委員会規程第3条第3号の理事会推薦委員の8名について、猪阪善隆、大八木保政、柴田洋孝、鈴木祐介、新実彰男、千酌浩樹、中島亜矢子、山本善裕の推薦があり、原案通り選任された。また、委員が少ない神経の分野について花島律子を理事会推薦としたいとの説明があり、承認を得た。

(2) 本年度第1回委員会開催日

議長より、本年度第1回の委員会開催日について調整して決定したいとの説明があり、了承を得た。

第11議案 学術誌編集委員会関係事項

(1) 日本内科学会雑誌編集委員会報告

高橋編集主任より、本年度の発行状況、今後の特集内容およびその他の掲載内容について報告があり、了承を得た。

(2) Internal Medicine 編集委員会報告

大平編集主任より、Internal Medicine の投稿状況、Impact Factor 推移について、2020年度のBest Citation Award と Outstanding Reviewers の各表彰について報告があり、了承を得た。また、査読候補者の推薦数について、現状の3名推薦の基本を投稿数の多い分野等については、例外的に2名の候補者推薦を一部可とすること、推薦査読者制度の導入については、公平な査読を行い、審査結果の客観性を維持する観点から慎重に検討することとなったとの報告があり、了承を得た。

第12議案 総務委員会関係事項

(1) 理事長推薦委員若干名に関する件

議長より、総務委員会規程第3条第3号の理事長推薦委員の若干名について、池添隆之、安田和基、柳田素子の推薦があり、原案通り選任された。

(2) 本年度第1回委員会報告

議長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第13議案 医療安全委員会関係事項

(1) 委員長推薦委員に関する件

議長より、医療安全委員会規程第3条第2号の委員長推薦委員について、委員長候補者より麻生好正、足立 健、磯部紀子、小林欣夫、田村功一、塚本和久、原 眞純の推薦があったとの報告があり、原案通り選任された。その際に南学副理事長から委員会の業務の性質上、消化器分野の委員を追加した方が良いのではないかとの指摘があり、後日追加することとした。

(2) 本年度第1回委員会開催日

議長より、本年度第1回の委員会開催日について調整して決定したいとの説明があり、了承を得た。

第14議案 倫理委員会関係事項

(1) 委員長推薦委員に関する件

議長より、倫理委員会規程第3条第2号の委員長推薦委員について、委員長候補者より多賀谷悦子、竹石恭知、成瀬桂子、藤尾圭志、南 博信の推薦があったとの報告があり、原案通り選任された。

(2) 本年度第1回委員会開催日

議長より、本年度第1回の委員会開催日について調整して決定したいとの説明があり、了承を得た。

第15議案 AIプロジェクト委員会関係事項

南学委員長より、本年度第1回の委員会開催日について調整して決定したいとの説明があり、了承を得た。

第16議案 財務・組織管理委員会関係事項

議長より、本年度第1回の委員会開催日について報告があり、了承を得た。

第17議案 支部関係事項

議長より、本年度支部代表者会議の開催日について報告があり、了承を得た。

第18議案 各種規程等の変更について

(1) 評議員候補者推薦に関する規程について

議長より、新専門医制度への移行に伴い、教育施設からの評議員候補者推薦について、規程の該当部分を配布資料の通り変更したいとの提案があり、原案通り承認を得た。

(2) 謝金支払い項目の追加について

議長より、J-OSLER 検討委員会の業務内容について説明の後、年間業務の対価として他の業務の謝金金額を踏まえて7万円を謝金金額として新たに設定したいとの提案があり、承認を得た。

第19議案 新入会者の件

議長より、本年3月23日から本年4月30日までに971名の入会者があったとの報告があり、了承を得た。

第20議案 日本専門医機構関係事項

事務局より、新専門医制度における更新制度とサブスペシャリティ学会の機構認定に関する現在の動向および内科医のキャリアパスと地域医療への影響に関する報告があり、了承を得た。なお、総合内科専門医資格のサブスペシャリティ領域としての機構認定に至らなかった件については、横山審議会会長からその理由を機構側に問い合わせをし、しかるべき対応をとりたいとの発言があった。駒津理事より、総合内科専門医資格の機構認定の今後の機会について質問があり、恐らく1年後くらいに審査が行われるのではないかとの見通しが示された。また、有馬理事より、内科系以外のサブスペシャリティ領域に状況について質問があり、事務局から外科系サブスペシャリティ領域については三階建構想をもっており、現状では三階部分に対する機構側の考え方がよくわからないため、今回は申請を見合わせたこと、また内科系サブスペシャリティ領域の中でも他科出身者の資格取得について現在のところ明確な答えがでていないとの回答があった。日浅理事からは、東京にシーリングをかけられた際の地方に及ぼす影響について意見が述べられた。

第21議案 その他

- (1) 「日本版敗血症診療ガイドライン2020」の後援依頼について
南学副理事長より、依頼内容について説明があり、後援することで承認を得た。
- (2) 「我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査」について
須永専門医部会会長より、調査結果に関連して疾患名をICD10の標準疾患名に読み替える必要があり、専門医部会内にワーキンググループを設置して作業を進めているとの報告があり、了承を得た。
- (3) 病理剖検に関するアンケートの依頼（日本病理学会）について
日本病理学会の佐々木理事より、病理解剖等に関するアンケート案について説明の後、内科専門研修プログラム基幹施設のプログラム統括責任者を対象にアンケートへの協力について依頼があり、協力することで承認を得た。
- (4) 「新型コロナワクチン接種医師確保事業」への協力依頼について
議長より、医師のセカンドキャリアと地域医療を支えるネットワークからの「新型コロナワクチン接種医師確保事業」への協力依頼について説明があり、学会誌送付の際にB5サイズのチラシを同封して協力することで承認を得た。
- (5) 今後の理事会等開催予定
議長より、今後の理事会等開催日程について説明・報告があり、了承を得た。

議長より、事前に用意した議案は以上だが他にないか諮ったところ、横山審議会会長から日本病理学会の病理解剖に関するアンケートについて、内科の立場で意見が書けるように自由記載欄を設けてはどうかとの提案があり、その旨を日本病理学会へ伝えることとした。また事務局より、2021年度生涯教育講演会のAおよびCセッションの第1回目については、会場の大阪国際会議場が国の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の会場となり使用できなくなったため、観客を入れられないオンラインでの開催の方向で主宰会長と調整しているとの報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

令和3年5月6日

一般社団法人日本内科学会理事会 議長（理事長） 矢富 裕

議事録署名人（監事） 梶波 康二

議事録署名人（監事） 北園 孝成

議事録署名人（監事） 持田 智